

令和 8 年 5 月 14 日

第 1 回秦野高等学校学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和 8 年 5 月 1 4 日
- 2 場所 秦野高等学校 会議室
- 3 出席者 委員 6 名 学校職員 1 2 名
- 4 内容

○協議

(1) 学校設置部会および令和 8 年度の活動計画について

- ・昨年度の成果と課題を踏まえ、今年度も学校評価部会と地域連携部会の 2 部会で進めていく。

◎学校設置部会および令和 8 年度の活動計画に関して承認

(2) 令和 8 年度 活動計画・学校評価報告書（目標設定）について

視点 1 教育課程・学習指導

- ・生徒の授業評価アンケートを踏まえた「主体的な学び」に関する評価を上げるための課題を設定し、指導の改善につなげる。
- ・昨年度 STEAM 教育研究推進校として取り組んできたことに対する評価が高かったため今年度はこれを踏襲する。
- ・探究活動をゼミ形式で行い、生徒が学校外で発表する機会を増やすことでモチベーションアップにつなげていく。
- ・DX ハイスクールの予算なども活用しつつ ICT 環境を整えていく。
- ・体育祭・文化祭等の学校行事において生徒主体で組織的な運営ができるよう支援する。

視点 2 生徒指導・支援

- ・部活動でも学校行事と同じく生徒主体で取り組んでいくための環境をつくる。
- ・部活動加入率を上げることが課題である。
- ・交通安全や防犯について生徒への意識づけをしていく。
- ・欠席の多い生徒の情報共有を日常的に行うことで教員間の共通理解のもとで支援を行う。

視点 3 進路指導・支援

- ・生徒が学習に取り組むきっかけとしてのキャリア教育を行う。
- ・インターンシップの参加者を増やし職業観を持たせていきたい。
- ・昨年度と同様に夏季休業中の姉妹校訪問の準備を進めている。また姉妹校生徒受け入れは海外情勢をみながら行う。

視点 4 地域等との協働

- ・地域での協働活動は高大連携や卒業生講話など行っているが、それ以上に広がりがないことが課題である。
- ・秦野市に位置する学校として貢献できる活動を模索中、協働できる機会を作りたい。

視点 5 学校管理・学校運営

- ・防災訓練の形態をより実践的な方法にしていく。
- ・不祥事防止については各グループ輪番で毎月担当し実施していく。
- ・業務の効率化を進め勤務時間の縮減を検討することが課題である。

<委員より>

- ・部活動等の遠征時の移動方法などの状況が気になっている。
→基本的には公共交通機関で移動している。保護者会等でバスをチャーターする場合もある。
- ・地域では今年も体育祭や防災訓練などの予定がある。機会があれば参加してもらいたい。
- ・秦野市では高校生のインターンシップも受け入れている。市役所の仕事を知る機会を持ってほしい。
- ・秦野市の施策を進めるうえで高校生・大学生の話をする機会をもち、街づくりに関しても連携できればよい。
- ・秦高でも国公立大学の合格者が増えていけばと思う。
→視野を広げて色々な大学・学部に挑戦させるような指導ができればよいと考えている。
- ・広畑・大根地区の小学校から大学まである地の利を生かして交流していきたい。
- ・AI の技術進歩がはやく活用方法が課題だが、生身の人間ならではの主体的に学ぶ意欲を育むことが必要である。
- ・生徒は新年度で環境が変わっている。4・5月の過ごし方には気を使ってほしいと思う。

◎学校評価報告書（目標設定）について承認

5 事務連絡

- ・第2回学校運営協議会 10 月予定。